

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                                                                                                                                        |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 登録コード:MH166400 開講年度:2026 |                                                                                                                                                                                                                                                                  | 授業科目区分     | 助産師コース 必修                                                                                                                              |
| 科目名                      | 助産学実習Ⅱ（健康教育）【20M～24M】<br>Practice in Midwifery and maternity care Ⅱ                                                                                                                                                                                              |            |                                                                                                                                        |
| 担当教員                     | 中込 さと子 他 芳賀 亜紀子・徳武 千足・鮫島 敦子・佐藤 優香                                                                                                                                                                                                                                |            |                                                                                                                                        |
| 対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限       | 看護学専攻/4年 後期(集中) 集中・不定期                                                                                                                                                                                                                                           |            |                                                                                                                                        |
| 単位数、講義室                  | 1単位                                                                                                                                                                                                                                                              | 保健学科221講義室 | 遠隔授業科目                                                                                                                                 |
| 信大コンピテンシー                | 該当                                                                                                                                                                                                                                                               |            |                                                                                                                                        |
| 授業の達成目標                  | 授業で得られる「学位授与の方針」要素                                                                                                                                                                                                                                               | ⇔          | 授業の達成目標                                                                                                                                |
|                          | MH22カリ・保健, MH20カリ・保健                                                                                                                                                                                                                                             |            |                                                                                                                                        |
|                          | 生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。                                                                                                                                                                                                            | ⇔          | 人の性と生殖をめぐる課題、子ども産み育てる課題に取り組むための諸理論を学習する。                                                                                               |
|                          | 保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。                                                                                                                                                                                              | ⇔          | 母子保健施策におけるセルフケア・ヘルスプロモーション・エンパワメント理論を学ぶ。                                                                                               |
|                          | 保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。                                                                                                                                                                                                               | ⇔          | 母子保健施策における諸理論を基盤とした健康教育の企画・実施・評価方法を学ぶ。                                                                                                 |
|                          | MH23カリ・保健・看護                                                                                                                                                                                                                                                     |            |                                                                                                                                        |
|                          | 《基礎的・専門的な知識と技能》看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。                                                                                                                                                                                                  | ⇔          | セクシャルリプロダクティブヘルス/ライツ、女性の社会参加と健康支援、妊娠・出産・子育てをする人々と子どもに関する幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を習得し、プライマリーケアのヘルスケア施設や学校での健康教育を計画し、実行し、評価することができる。          |
|                          | 《科学的探求力》変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。                                                                                                                                                       | ⇔          | 周産期医療に関する科学の進歩、現代の社会構造の変化をとらえながら、的確に個人のニーズと価値を尊重し、課題解決のためのセルフマネジメント力を向上しうる健康教育を実行する力を獲得する。                                             |
|                          | 《問題解決力》保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。                                                                                                                                                                             | ⇔          | 思春期にある人々の身体心理社会的特性、妊娠・出産・子育てに生じる身体心理社会的変化を分析し、最新情報と科学的根拠、人々の認識に影響を与える事項に関する分析に基づき、セルフマネジメント力を維持向上する健康教育方法を実行する力を獲得する。                  |
|                          | 《対人関係形成・協働力》保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる。                                                                                                                                                                    | ⇔          | セクシャルリプロダクティブヘルス/ライツ、女性の社会参加と健康支援、妊娠・出産・子育てをする人々と子どもに対する全人的に支援をする方略を学ぶ。また、周産期医療システム、地域母子保健システムに関連する多職種との協働し、個人・集団・社会をエンパワメントする方略を考究する。 |
|                          | 《プロフェッショナリズム》看護専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。                                                                                                                                                                                   | ⇔          | セクシャルリプロダクティブヘルス/ライツ、女性の社会参加と健康支援、妊娠・出産・子育てをする人々と子どもについて、国内外の文化から理解し、多様性の尊重について学ぶ。変化する社会の動向を見据え、女性、親となる人々と子どもへの保健政策を探究する。              |
| 授業で学べる「テーマ」              | 環境共生、多文化協働、健康長寿、キャリア                                                                                                                                                                                                                                             |            |                                                                                                                                        |
| 全学横断特別教育プログラム            |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                                                                                                                                        |
| 授業概要                     | <p>高校生、ならびに妊婦とパートナーである人々の小集団を対象とした健康教育案を企画し、実施、評価する力を習得します。</p> <p>基礎看護学・公衆衛生看護学・小児看護学、母性看護学、ヒューマンセクシュアリティ、関連の科目と関連があります。また、助産学実習Ⅰを終了した学生が、リアリティのある情報提供を実施することを期待しています。</p> <p>本授業は、助産師資格取得の必須科目として開講します。担当教員の地域母子保健における助産師としての実務経験を活かして講義を行います。</p>             |            |                                                                                                                                        |
| 授業計画                     | <p>1.妊婦（と家族）を対象とした健康教育の企画・実施・評価を行う。</p> <p>2.高校生を対象とした性教育を教員と共に企画し、運営・評価を行う。</p> <p>&lt;実習期間&gt;（予定）</p> <p>妊婦（と家族）を対象とした小集団教育：学生がテーマを決めて健康教育を企画、実施、評価を行います。</p> <p>性教育：9～10月中旬に学内演習4～5回、10月に高校へ出向き、性教育を行います。</p> <p>1と2の間に、中間評価を行います。また、実習期間中に授業アンケートを行います。</p> |            |                                                                                                                                        |
| 授業の進め方                   | <p>妊婦（と家族）向けの健康教育のテーマの決定、資料収集、教育ツール、開催方法、シナリオ、評価方法を作成し、実際に行います。</p> <p>性教育指導は、教員が行う近隣の高校での性教育に参加します。（新型コロナウイルス感染症の感染状況によってシミュレーションの可能性あり）</p>                                                                                                                    |            |                                                                                                                                        |
| テキスト、教材、参考書              | <p>必携図書 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 第1部（1～3章）第2部（4章）</p> <p>その都度、参考図書を紹介します。</p> <p>母性看護学、公衆衛生看護学関連の講義資料も役立つでしょう。</p> <p>また、大いに図書館を活用しましょう。</p>                                                                                                                             |            |                                                                                                                                        |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テキスト，教材，参考書           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 成績評価の方法               | 高校生向け性教育（50％）および妊婦（と家族）向けの小集団健康教育学級（50％）に対し、企画から評価までを総合的に評価します（成績評価の基準は以下参照）。                                                                                                                                                                                                                            |
| 成績評価の基準               | 集団指導に関して、（i）企画の設定が適切であり、（ii）集団の背景や特性をアセスメントできており、（iii）その問題にどのような課題や問題があるのかを指摘できており、（iv）それらの課題に対して適切な指導方法が選択されており、（v）適切に評価を行い、適切な見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」とし評価する。性教育、両親学級ともに、（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」とし、80％以上、4項目までできていれば「やや上にある（良）」とし70％台、3項目までできていれば「水準にある（可）」とし、60％台とし、それぞれ点数化します。 |
| 事前事後学習の内容             | 本授業の単位取得には45時間の学習が必要です。<br>指導案を作成し、実際に講義をするまでには、何度もグループワークを行います。そのためには、まずは個人レベルで分担し（毎回2時間程度）、調べたものを持ち寄り、ディスカッションして制作する必要があります。ディスカッション前後の事前事後学習は1時間以上かかるでしょう。<br>計画的に準備するために個人作業とグループ作業の時間を確保しましょう。                                                                                                      |
| 学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応 | 自主的に学ぶ姿勢を身につけてほしい。この実習もグループで行うので、他の学生の心身にも気を配りながら、皆で力を合わせて進んでほしい。個ではなく集団を対象に健康教育を展開するので、集団という対象を中心に考え、企画運営を進めてほしい。またこれまでのやり方にとらわれず、柔軟に考えて欲しい。質問や相談はいつでも応じます。<br><br>中込のメールは以下のとおりです。（snakagomi@shinshu-u.ac.jp）<br>オフィスアワーは曜日を固定していません。メールでアポイントの連絡をください。個別に日時を合わせます。担当教員の研究室は保健学科棟中校舎3階にあります。           |